

降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究（第14回）プログラム

11月16日（月）

13:10

主催者あいさつ 事務連絡

13:15

セッション1：降雪粒子の表現

① 橋本 明弘（気象研究所 予報研究部 主任研究官）
「数値気象モデルにおける降雪粒子の表現」

13:45

② 本吉 弘岐（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
「経験的パラメタリゼーションにもとづく降雪の諸特性の定量的推定手法
について」

14:15

セッション2：2DVDと降雪粒子観測

③ 山下 克也（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
「2DVDの観測と課題」

14:45

④ 板戸 昌子（日本気象協会）
「XバンドMPLレーダを用いた降水粒子判別および地上観測による精度検

15:15

休憩

15:30

⑤ 南雲 信宏（気象研究所 気象衛星・観測システム研究部）
「2DVDで観測された凍雨の微物理特性について」

16:00

⑥ 熊倉 俊郎（長岡技術科学大学）
「新型光学式降水測定器の開発と現状」

16:30

⑦ 中井 専人（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
「レーダーと降雪粒子との同時観測の必要性」

17:00

11月17日 (火)

9:10

事務連絡など

9:15

セッション3：レーダー観測と雲の構造

⑧ 原 旅人 (気象庁予報部数値予報課)

「南岸低気圧による降雪予測事例についての気象庁現業モデルの予測特性」

9:45

⑨ 荒木 健太郎 (気象研究所 予報研究部 研究官)

「地上マイクロ波放射観測と降雪研究」

10:15

⑩ 畠山 光 (新潟大学理学部自然環境科学科)

「冬季日本海側に発生した帯状降雪雲の特徴—2013年1月9日の事例—」

10:45

⑪ 鈴木 真一 (防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット)

「XバンドMPレーダーで見た雹と竜巻をもたらす雲」

11:15

⑫ 総合討論

11:30

終了予定

構内見学・測器解説 (参加無料 ご自由にご参加ください)

12:30

昼食後、SW-Net観測点サイトツアー (事前に申し込まれた方)

16:30

長岡駅解散

越後交通バスのご案内

雪氷防災研究センター方面(のりば 長岡駅東口⑥番線)

長岡駅東口	前山町入口
8:35	8:46
12:20	12:37
13:20	13:33

長岡駅方面

前山町入口	長岡駅東口
11:33	11:45
12:53	13:15
17:03	17:18
18:03	18:21

※バスの時刻はワークショップの開始・終了に合わせたものを掲載しています